

研究題名：手術室での加温効果の確認 ダ・ヴィンチの体位での加温による効果の確認

所属（診療科）：看護部

研究責任者（職名）：加藤 拓夢（看護師）

研究期間：横須賀市立うわまち病院倫理委員会承認後から学会発表まで

研究の目的と意義：現在当院ダ・ヴィンチの手術では砕石位用の温風加温装置をしようしているが体位の関係上、下肢まで加温を行えていない。ベッドの加温を適切に行っていても、特殊体位、特に砕石位の手術ではベッドとの接触面も少なく両下肢の加温が出来ないなど低体温になりやすいのでは無いかと考えた。先行研究では、下肢の保温は術中の体温低下を防ぐことができ、有用と思われた。<sup>1)</sup>と言われている。また網塚等は、砕石位患者に対して保温・加温の工夫をすることで、術中の体温低下を防止できることが示された<sup>2)</sup>といっている。

砕石位時に両下肢を加温することで術中の加温を効果的に行えるか確認し、方法の検討を行いたいと考えた。

研究内容

- 対象となる患者さん：倫理委員会承認以降にロボット支援下前立腺摘除術（緊急手術は除く）を受ける患者
- 利用する情報と資料：研究によって得られた情報は本研究以外では使用しない。  
対象者の匿名性を保ち、研究結果は個人の特長ができないようにプライバシーの尊重と保護に配慮する。研究による手術への影響がないようにする。
- 研究方法：術前、術中、術後の体温を測定する
  - 加温・保温方法は統一した物品を使用して実施
  - 体温データは術前と術後体温の変化を比較する
  - 術中体温データは最低体温と平均体温をデータとする

問い合わせ先：研究担当者

氏名：加藤 拓夢

住所：238 -8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話： 046 -823 -2630（代表） 代表FAX： 046-827-1305

受付時間：月～金 受付時間： 9：00 ～17：00（祝・祭日を除く）